

住民と審議会委員の

(桔梗小・塩尻西小)
(広陵中・塩尻中)

意見交換会等を開催しました



議事録は非公開とし、活発な意見が出ました。

住民と審議会委員が意見交換する場を設けました

10月25日、塩尻市保健福祉センターで、小・中学校通学区域審議会委員と住民との意見交換会が開催されました。

意見交換会では、教育委員会の素案に対し、住民の皆さんから意見を頂き、審議会委員が見解を示す、質問するなどの意見交換が行われました。

主な意見の要旨を紹介します

○プレハブや1学級化の課題を考えると、できればC案がいいと思うが、1学年20、30人だけの変更が適正なのか疑問だ。

○このままだと塩尻西小は、理科の専科教員が一人減る。

○広陵中は、職員室、給食調理室、体育館、特別教室も限界に近い。

○C案では、兄弟がいたり、転居したりで、解決しないのでは。

○未就学児や出生前の子どもたちから考えていくのが一番いいので、新たな案を出してほしい。

○塩尻西小では、やはり友達が多い方がいいという意見がある。

○現在小中学生がいない家庭も含めて、皆さんの意見を知りたい。

○隣接の学校の規模に差がある状況なので、考えていく必要がある。

○塩尻西小に近い高出や平出も見直したらどうか。

○区画整理の地域を塩尻西小にすれば、転校等の問題はなくなる。

○自分が塩尻西小の保護者なら、子どもが減ることは寂しい。学区の線引きを柔軟にしたらどうか。

○塩尻西小が減るのが問題なら、塩尻東小と統合する案も一案だ。

○郷原は2校に分かれているが、工夫をしていると聞いている。

○自分も学校分離を経験したが、困ったという話は余りなかった。

委員が関係4校の現状を把握する見学会を開催しました

11月13日、今後の審議会の議論



第三回審議会を開催します

これまでの議論や意見交換会、学校見学会などを踏まえ、答申の方向性等について審議される予定です。

■日時 11月27日(月)
午後7時～

■場所 塩尻総合文化センター
1階講堂

■傍聴 審議会は傍聴することができますので、ぜひ御来場ください。(発言は不可)



審議会委員が教室等の現状を把握

の参考にしていただくため、関係4校の見学会を開催。教室や職員室、給食室、プレハブ候補地等を見学しながら、質疑や審議会委員同士の意見交換が行われました。通学区域見直しの経過などの詳細は、塩尻市公式ホームページのトップページで「通学区域審議会」と検索し、御覧ください。

発行 平成29年11月20日 塩尻市教育委員会

通学区域見直しに関する御意見等は、教育委員会事務局こども教育部教育総務課学校支援係に電話(TEL0263-52-0830)又はEメール(gakkou@city.shiojiri.lg.jp)でお寄せください。

通学区域だよりは、塩尻市公式ホームページ(<https://www.city.shiojiri.lg.jp/>)にも掲載しています。